

★川ごみ調査結果シート<乞田川>

よみがえれ、大栗川を楽しむ会

分類項目		数量	備考
■容器・包装ごみ			
飲料	○飲料缶(アルミ、スチール)	45	
	○ビン	4	
	○ペットボトル	17	
	○ペットボトルのキャップのみ	1	
袋	○レジ袋	22	&[かけら・破片]多数
	○プラ袋(レジ袋以外、菓子袋も含め)すべて	133	&[かけら・破片]多数
その他	○飲食系プラ容器(弁当・トレイ・カップ)	17	&「スプーン」1
	○紙パック・トロ箱、その他の容器包装	11	「紙パック」2、「発泡スチロール(破片含む)」5、「プチプチ(緩衝材)」3、「厚紙の箱」1
	○混在ごみ(複数の容器・包装類をレジ袋等に詰め込んだ不法投棄ごみ)	1	タバコの吸い殻を詰めた瓶
■産業系ごみ			
○土のう袋・フレコンバッグ			
○ブルーシート・農業用マルチシート			
○鉄パイプ、産業系金属類			
○その他		3	「コーンベッド(カラーコーンの土台)」
■製品ごみ			
○タバコの吸い殻		195	&「箱」8、「ライター」9、「ICOS」1
○おもちゃ・靴・CD/DVD・ボールなど		3	「靴底」1、「CD」1、「ボール」1
○衣類・オムツ・マスク・手袋など		38	「ズボン」1、「トレーナー」1、「Tシャツ」2、「靴下」1、「帽子」1、「布」2、「パンツ」1、「マスク」25、「ハンカチ」1、「雑巾」2、「ビニール手袋」1
○ビニール傘(普通の傘、傘部品含む)		3	
○金属製品		18	「のこぎり」1、「自転車の鍵」1、「針金」1、「基板」1、「コード」2、「電池」3・・・など
○その他		3	「引き出しパーツ」1、「紙製手提げ袋」1、「自転車カバー」1
■粗大ごみ(不法投棄)			
○自転車・バイク・家具・その他			

◆調査年月日:2024年3月17日(日)

◆調査エリア:落合橋〜であい橋(全長:約990m)

◆参加人数:9名

◆可燃系:5袋(450袋) / 不燃系:2袋(450袋)

◆特記事項:

暖かな日和でしたが、風がやや強く、軽いごみ等の飛散に注意しながらの作業となりました。

参加者はボランティアウェブ*から5名、当会メンバー4名でした。

今回の活動場所は初めての場所でメンバーが少ないこともあり、準備・仕分け・片付けと、これまででないハードな作業となりました。初めと終わりのミーティング・用具置き場・仕分けスペース等歩道を使う事になり、歩行者にも気を使いながらの活動でした。

収集ごみは、細かい紙・プラの切れ端・欠片・破片が大変多く、きちんとカウントできないものが45L袋一杯はあったようです。空き缶・ペットボトルもかなり古くなったものも多く、流れの中や草むらはこれまで、ごみ拾い清掃作業はあまりなされていなかったと思われました。

であい橋から落合橋上流と、多摩センター駅エリアまで、当初欲張って見込んだ範囲をほぼ行うことが出来ました。

乞田川の桜並木の遊歩道から見下ろせる川のごみ清掃が出来ましたので、花見散策を楽しんでみては如何でしょう。(今月末の一週間が見頃でしょうか。)

なお、今後この先の上流部に活動を広めるかどうか、検討が必要でしょう。

*ボランティアウェブ:日本フィランソロピー協会が運営するウェブサイト。企業従業員向けに、様々な非営利活動団体のボランティア情報を提供している。利用企業の従業員の方は、ウェブサイトから全国の主要都市で実施される様々な分野のボランティアプログラムを選び、直接申し込みができる。